

コース番号	214
コース名	原価管理とコストダウン
コースのねらい	低コスト化と生産性向上を目指して、原価管理をコスト(費用削減)と生産性(業務効率向上)の2軸で捉え、企業収益向上のポイントを習得する。

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)	
	1	原価管理とは	ものづくりのQCD	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりのQCD</li> <li>原価の構成要素 (演習)</li> <li>固定費と変動費</li> <li>損益分岐点売上高 (演習)</li> <li>製品別原価管理表 (演習)</li> </ul>	0.5
0.5					
1.0					
2		コスト削減	ものづくりにおけるムダの定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりにおけるムダの定義</li> <li>ムダを見極める着眼方法</li> <li>改善案創出のための原理原則 (演習)</li> </ul>	1.0
			1.0		
			1.0		
3		IE手法による標準時間設定方法	作業分類法と稼働分析 (演習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業分類法と稼働分析 (演習)</li> <li>時間観測による標準時間の設定方法 (演習)</li> <li>模擬作業における標準時間を活用した改善 (演習)</li> </ul>	0.5
			1.0		
			1.0		
合計時間				6.0	

コース基本情報	
会場	ポリテクセンター福岡(北九州市八幡西区穴生3-5-1)
実施機関	一般社団法人中部産業連盟
申込締切	2022年8月24日
訓練日程	2022年9月7日
訓練時間	9:30~16:30
定員(名)	20
受講料(円)	3,300

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	215
コース名	品質管理実践
コースのねらい	品質管理の考え方を理解し、不良・クレームゼロを実践するために必要な知識と技能を習得する。

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	品質管理の進め方	(1) 品質管理と品質保証の考え方 顧客に不良品を渡さないための品質保証と良品を作りこむための品質管理の違いや両者の必要性等を解説する。 (2) 品質管理の基本的な考え方 企業が顧客の要求を満足する商品やサービスを提供するためには、全社(全部門)で品質管理に取り組む必要があり、その背景や目的及び重要な考え方等を解説する。 (3) 不良ゼロの意義と効果 不良発生による企業の損失及び顧客に渡ることによるリスクとともに、不良削減による有形・無形の効果等を解説する。	2.0
	2	品質管理活動の推進	(1) 品質管理活動の基本 顧客の要求を満足する商品やサービスを提供するために必要な基本的な取り組みを解説する。 (2) 製造管理のポイントと作業標準化 製造で品質を造り込むために大切な4M管理のポイントとそのために必要な作業標準化の進め方等を解説する。	2.0
	3	不良・クレームゼロの実践	(1) QC的問題解決の考え方と進め方 問題設定から、要因分析・対策・歯止めまでの問題解決の基本手順(QCストーリー)や関連するQC7つ道具について解説する。 (2) 不良・クレーム発生の原因分析と対応 不良やクレームの発生原因分析の着眼点と関連するQC手法とともに、対策実施後の再発防止の重要性を解説する。	2.0
			合計時間	6.0

コース基本情報	
会場	ポリテクセンター福岡(北九州市八幡西区穴生3-5-1)
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社
申込締切	2022年8月22日
訓練日程	2022年9月5日
訓練時間	9:30~16:30
定員(名)	20
受講料(円)	3,300

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	216
コース名	ITツールを活用した業務改善
コースのねらい	業務の省力化や効率化を目指して、ITツールを活用することで業務改善を実現するために、ITツールの特徴と種類を理解し、自社業務に適切なITツールを選定するための知識を習得する。

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 ITツールの種類と活用	(1)DXとは何か 昨今の経営課題として取り上げられているDX(デジタル・トランスフォーメーション)について、その概念について解説します。自社にとってのDXを考えるキッカケとして考えて頂きます。	0.5
		(2)業務改善の基本 業務改善の基本となるOIPの考え方と業務改善のステップについて解説します。その上で、自社でITツールを導入する際の手順(問題発見、あるべき姿の設定、現状とのGAP把握、解決策の検討、ツールの検討、テスト導入、本格導入、ユーザートレーニング)を解説します。	1.0
		(3)ITツールを活用した業務改善事例 ITツールを活用して業務改善を行っている事例を紹介し、特に中小企業での活用事例を中心に解説します。ポイントは、少ない投資、適用スピード、小さな成功体験の積み重ね、の3点であることをお伝えします。	0.5
		(4)ITツールのトレンドとその種類 企業活動の様々なシーンでITが活用されています。ここでは、ITツールのトレンドとどのような種類があり、どのような現場(シーン)で活用されているのかをツールの側面から解説します。クラウド、IoT、RPA、VRやARなどのメタバース、業務アプリ、AI等の最新ツールも合わせて紹介します。	1.0
	2 ITツールの業務適用	(1)自社のありたい姿(ビジョン)を創造する【演習あり】 3年後の自社のありたい姿(ビジョン)を参加者全員で創造します。ビジョンから逆算して、3ヶ月から1年の間に実現したい目標を設定し、目標を達成するための方法(戦略)を考えます。	1.0
		(2)ITツールの業務適用範囲の検討【演習あり】 ビジョンに照らし、自社のどの業務をIT化すべきかについて、演習を交えて検討を行います。コミュニケーションの改善、情報の一元管理、ルーチンワークの削減など、自社の課題と照らし合わせて検討します。導入する場合のステップについて、特にスモールスタート・クイックウィンの考え方を解説します。	1.0
(3)必要機能の選定と導入・運用コスト【演習あり】 自社にとってどのようなサービスが必要なのか、どのような機能が必要なのかを検討します。個々人が解決したい業務課題を書き出し、それを解決するためのITツールについてグループワークにて検討を行います。		1.0	
			6.0

コース基本情報	
会場	ポリテクセンター福岡(北九州市八幡西区穴生3-5-1)
実施機関	株式会社パワートレイン
申込締切	2022年8月26日
訓練日程	2022年9月9日
訓練時間	9:30~16:30
定員(名)	20
受講料(円)	3,300

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	217
コース名	成果を上げる業務改善
コースのねらい	生産性向上に資する業務改善の目的と必要性を理解し、改善の視点と具体的な進め方を習得する。

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (+)
講義内容	1	業務改善と業務の可視化  1. 業務改善とは何かを考える (1) 業務改善とは (2) 業務改善のポイント (3) 業務改善を行うに当たって (4) 業務改善の手順  2. 改善対象の抽出 ①顧客からみた視点で考える ②業務プロセスの視点で考える ③内部関係者の視点に立つ ④財務(コスト・費用)の視点で考える ⑤組織目標の視点で考える ⑥比較の視点で考える 【ワーク】様々な視点から自組織の抱える課題を洗い出す  3. テーマの選定(改善対象の絞り込み) (1) 改善テーマを選定するとは (2) 改善テーマを選定する基準  4. 現状分析 (1) 見えない現実を数値化する 【ワーク】自組織が抱える課題を例に挙げ、コスト計算をする (2) 図表で視覚化し分析する (3) ばらつきと層別で考える (4) 動態観察を行う (5) 工程分析(流れ図・フロー図作成)を行う (6) パレート図による分析 【ワーク】課題の分析方法、その分析から得られる情報を考える  5. 原因追究 (1) 現象と原因 (2) 原因を徹底的に考える ～経験だけに頼らない (3) 原因を体系的に考える ～特性要因図 【ワーク】1つ問題を選び、特性要因図を使って分析する	3.0
	2	業務改善手法  6. 目標設定 (1) なぜ目標を設定するのか (2) 目標設定のポイント  7. 対策の立案・検討 (1) 対策立案の基本 (2) 対策立案のポイント (3) 対策検討のポイント  8. 対策の実施 (1) メンバーを動かすための工夫 (2) 途中経過を検証し計画を修正  9. 効果の確認  10. 改善の定着・継続 (1) 効果を踏まえる (2) 改善を定着、継続させる  11. 業務改善企画書の作成	3.0
		合計時間	6.0

コース基本情報	
会場	ポリテクセンター福岡(北九州市八幡西区穴生3-5-1)
実施機関	株式会社インソース 九州支社
申込締切	2022年10月3日
訓練日程	2022年10月17日
訓練時間	9:30~16:30
定員(名)	20
受講料(円)	3,300

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	218
コース名	管理者のための問題解決力向上
コースのねらい	組織課題に対し、業務の問題の本質を的確に捉え、業務の問題解決を図るための手法を学び、管理者として必要となる問題解決を実行するための知識と技能を習得する。

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	組織の課題と対応策	1. 問題とは何か (1) 問題解決においての問題 【演習】問題を解決する際に「難しいこと」「苦手だと思うこと」を書き出す (2) 問題とは「事実」をあらわす言葉 (3) 問題解決への取り組みが「課題」  2. 問題解決の流れ (1) 問題解決の基本的な流れ (2) 問題解決の具体的な手順  3. 問題の発見 (1) 「6つの視点」による問題発見  【演習】それぞれの視点から、自分自身の周りにどんな問題があるか思いつくり挙げる (2) 日常の「違和感」からの問題発見 (3) 他者との協働による問題発見
2	問題の発見と見える化	4. 現状把握・調査 (1) 現状把握の手法 ～数値化 (2) 数値を見やすく整理する ～図表の種類 (3) 数値分析をする① ～平均と個の「ばらつき」 (4) 数値分析をする② ～層別による比較 (5) パレート図・パレートの法則 (6) 業務フローから分析する (7) 動態観察から分析する  5. 問題の整理 (1) 解決すべき問題の優先順位づけ (2) あるべき姿を設定する 【演習】解決すべき問題について、「あるべき姿」を設定しましょう。  6. 真因追究 (1) 特性要因図 (2) ロジックツリー (3) 連関図法 【演習】問題を引き起こしている根本の原因究明を行う 【参考】5回の「なぜ」	2.0
3	問題解決に向けた取組み	7. 解決策の策定 (1) 解決策の検討 【演習】真因への対策を考えられる限り、洗い出して考える (2) 適切な解決策選択  8. 行動計画策定・実施 (1) 行動計画策定のポイント (2) 進捗の確認 (3) PDCAサイクルで管理する  9. まとめ	2.0
合計時間			6.0

コース基本情報	
会場	ポリテクセンター福岡(北九州市八幡西区穴生3-5-1)
実施機関	株式会社インソース 九州支社
申込締切	2022年10月5日
訓練日程	2022年10月19日
訓練時間	9:30～16:30
定員 (名)	20
受講料 (円)	3,300

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	407
コース名	表計算ソフトを活用した業務改善
コースのねらい	表計算ソフトについて、業務で必要となる各種用途に応じた実習を通して、業務改善につながる活用方法を学習する。

「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1	表計算ソフト概要と基本操作	1.5	
	2	文書作成ソフトと表計算ソフトの用途の違い	1.0	
	3	ワークシートの活用	3.5	
			合計時間	6.0

コース基本情報	
会場	株式会社アットワーク 黒崎駅前教室 (北九州市八幡西区黒崎3-9-22RISOビル7F)
実施機関	株式会社アットワーク
申込締切	2022年9月2日
訓練日程	2022年9月17日
訓練時間	9:30~16:30
定員 (名)	15
受講料 (円)	2,200

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	408
コース名	業務に役立つ表計算ソフトの関数活用
コースのねらい	業務の効率化を目指して、事務処理に必要なデータ処理における計算ソフトの関数の効果的な活用方法を習得する。

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	データの処理	(1) 様々な関数 ・日々の作業中の「データ処理」において、関数を使用することによる効率化について解説する。 (2) 関数の活用法【演習あり】 ・関数の入力、修正を効率よく行う方法について説明し、演習を行う。 ・関数（数式）のコピーとセルの参照（\$）についての解説と演習。 (3) 関数のネスト【演習あり】 ・複数の関数を組み合わせて使用方法についての解説と演習。	2.0
2	関数の実務活用	(1) 場合に応じた処理【演習あり】 ・論理関数を使って、複雑な条件を指定する方法についての解説と演習。 (IF関数 AND関数 OR関数 ほか) ・統計関数を使って、条件を指定して計算する方法についての解説と演習。 (COUNTIF関数、SUMIF関数 ほか) (2) 他のデータを検索・参照する処理【演習あり】 ・検索関数を使ったデータの参照方法についての解説と演習。 (VLOOKUP関数、INDEX関数 ほか) (3) 日付、時刻を扱う処理【演習あり】 ・表計算ソフトにおける日付、時刻の取り扱う方法についての解説と演習。 (DATE関数、YEAR関数、MONTH関数、DAY関数 ほか) (4) その他の関数【演習あり】 ・様々な関数についての使用方法についての解説と演習。	4.0	
			合計時間	6.0

コース基本情報	
会場	株式会社アットワーク 黒崎駅前教室（北九州市八幡西区黒崎3-9-22RISOビル7F）
実施機関	株式会社アットワーク
申込締切	2022年9月30日
訓練日程	2022年10月15日
訓練時間	9:30～16:30
定員（名）	15
受講料（円）	2,200

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。